

復興グッズ・被災地グッズ

- まけないぞう（神戸→東北）
- 東北の復興グッズ・被災地グッズ
- 中間支援組織論

まけないぞうとは？

阪神・淡路大震災の被災者の
「生きがい・しごとづくり」として1997年に開始



全国から寄付された善意のタオルを加工し、
ぞうの顔をかたどった
壁掛けのお手拭タオル

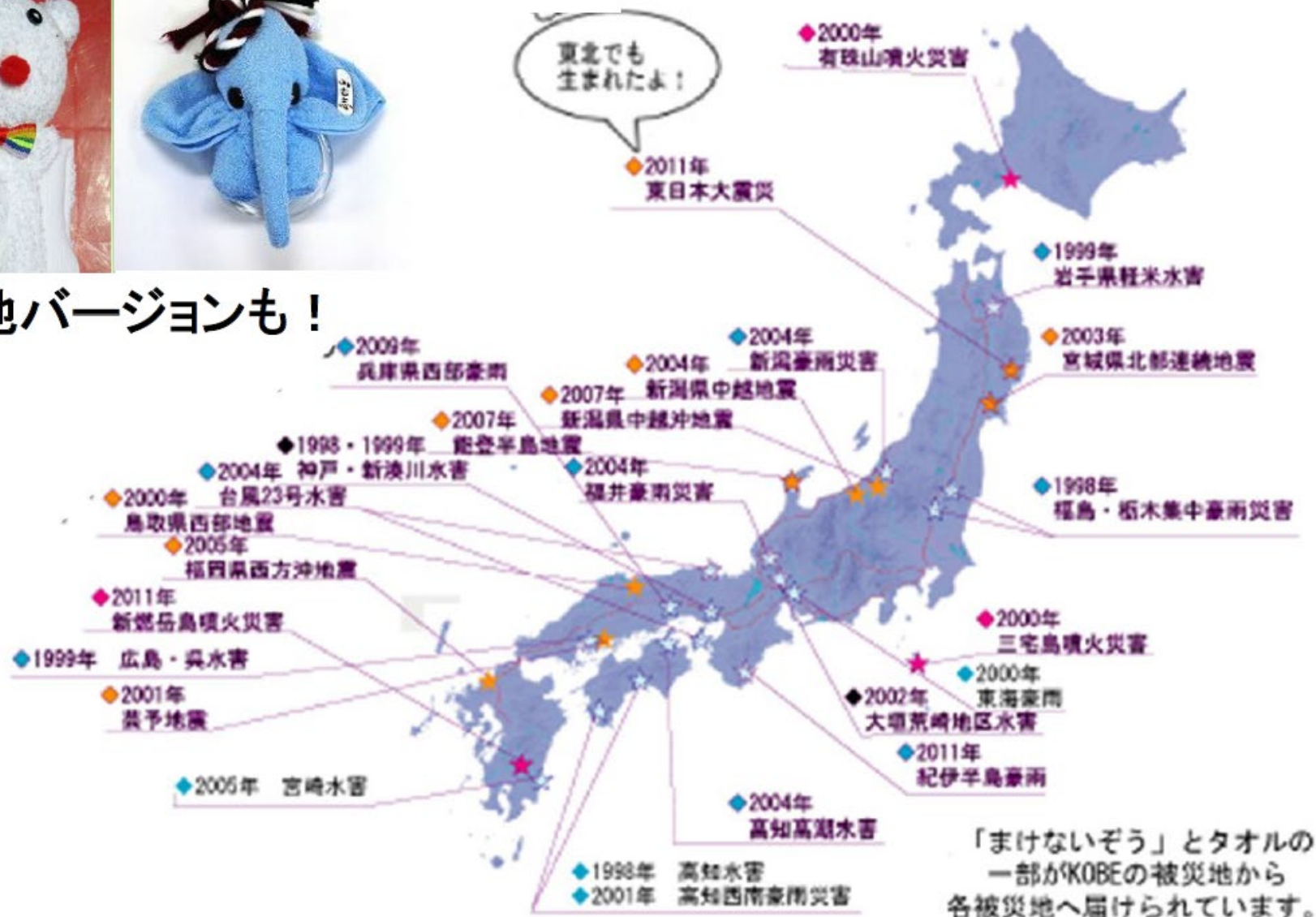
Cf. 西山志保,2005,『ボランティア活動の論理』,東信堂

- 阪神淡路大震災から続く「まけないぞう」
- 中越・中越沖地震でも実践
「も～まけないぞう」（山古志村）
- 東日本大震災では避難所段階から開始
被災地を渡り歩く事業
- 被災地での配布・被災地からの発信
世界各地での配布
- 被災地での製作
生きがいつくり・しごとづくりとしての意味

神戸から全国の被災地へ



ご当地バージョンも！





【まけないぞうサポーター 神奈川県在住のChikakoさんからののお便りです】
お友達から「まけないぞう」さんをお借りいただきその主旨に感銘を受けたので、少しでも被災地支援のお手伝いが出来ればと思って購入してみました。今回我が家に届いたのは石巻、陸前高田、大船渡で被災された方が作って下さったもの。可愛いし、タオル地で赤ちゃんが舐めても安心なので娘におもちゃ代わりに渡してみたところ、早速お鼻にかじりついて遊んでいます。(^^) 今はまだ分からないだろうけれど、娘がもう少し大きくなったら、震災のことや辛い思いをされている方々のこと、この象さんに込められた色々な思いを話して聞かせようと思います。人の痛みが分かる優しい子になってくれればいいなと思いつつ、娘が大きくなる頃には復興が進んでいることを願ってやみません。』



四川大地震の被災地、ハイチ、青海省などの被災地にまけないぞうが届けられた。被災地 NGO 協働センターとともに海外の支援活動をしているCODE(海外災害援助市民センター)のスタッフが被災地へ何度も足を運び、阪神・淡路大震災の時に全国・全世界の人たちから支援を受けた恩返しのつもりで活動。



サ 21日 今の
 地 6月 町な。ッ
 的 6月 陸けたな
 目 3月 亡く
 の 3月 多
 礼 陽た貝礼波、た。
 巡 便太しテ巡津たし
 歩 お、まタ、ま
 徒 のにきホノ災、り
 着 日つた一震々あ
 ら 到の事いミ大方が
 か 事こ無た力、たり
 ん 無のにたのはれ祈
 さ へ至ゴい緒ノさの
 三 ゴ夏アに一災為
 純 ア！インがミ被の
 野 イたテさ「カ、ア
 佐 テっん師うのタイ
 【ンやサ漁ぞ回万テ

ウィーン3月



フランス4月



ボストン5月



心と心のキャッチボール

被災者

やっと恩返しができる、こんな私でもお役に立てるのね。

支援者

元気や勇気をももらいました



支援する側、される側の一方通行の関係性がお互いに支え合える関係性を構築

いきがいくくり

「里帰り」の事例も・・・

しごととコミュニティ

■しごとづくり

一つ作るのに**15分～20分**
月に**7万円～8万円**

内職の域はでないが、お小遣い、家計の足しに

■コミュニティづくり

住み慣れた街を離れ、郊外の
仮設への引っ越し

コミュニティは崩壊

「まけないぞう」を通して、
友だちの輪が広がった。

避難所でのまけないぞうづくり



2011年3月大槌町



2011年3月大槌町

「津波のことが忘れられた」

「久しぶりによく眠れるわあ」



「2週間ぶりに針を持ったわあ」

2011年6月大槌町

仮設住宅段階での製作





災害復興住宅にて



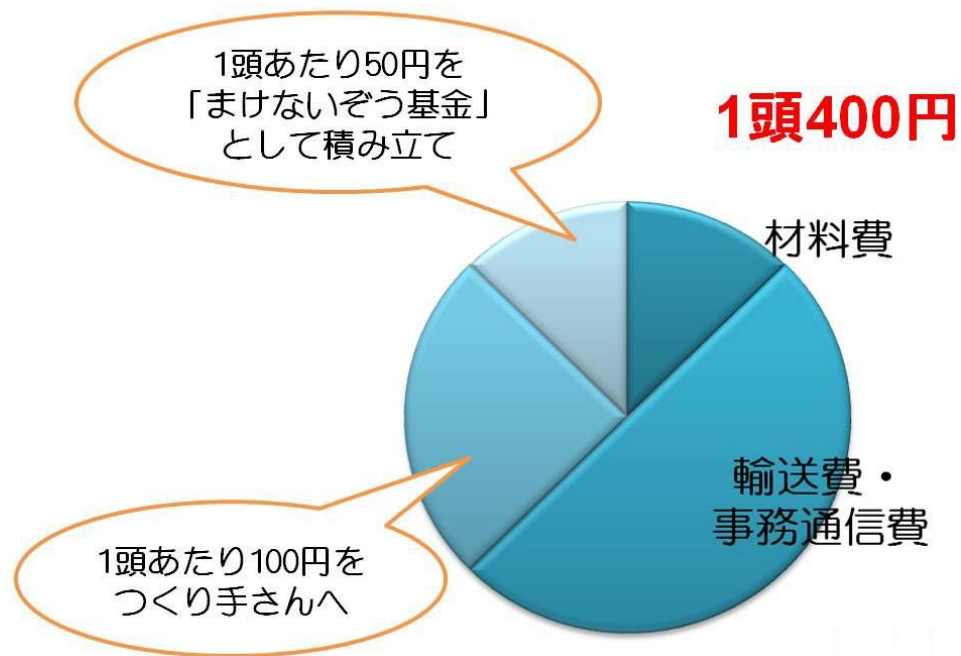
再建した自宅



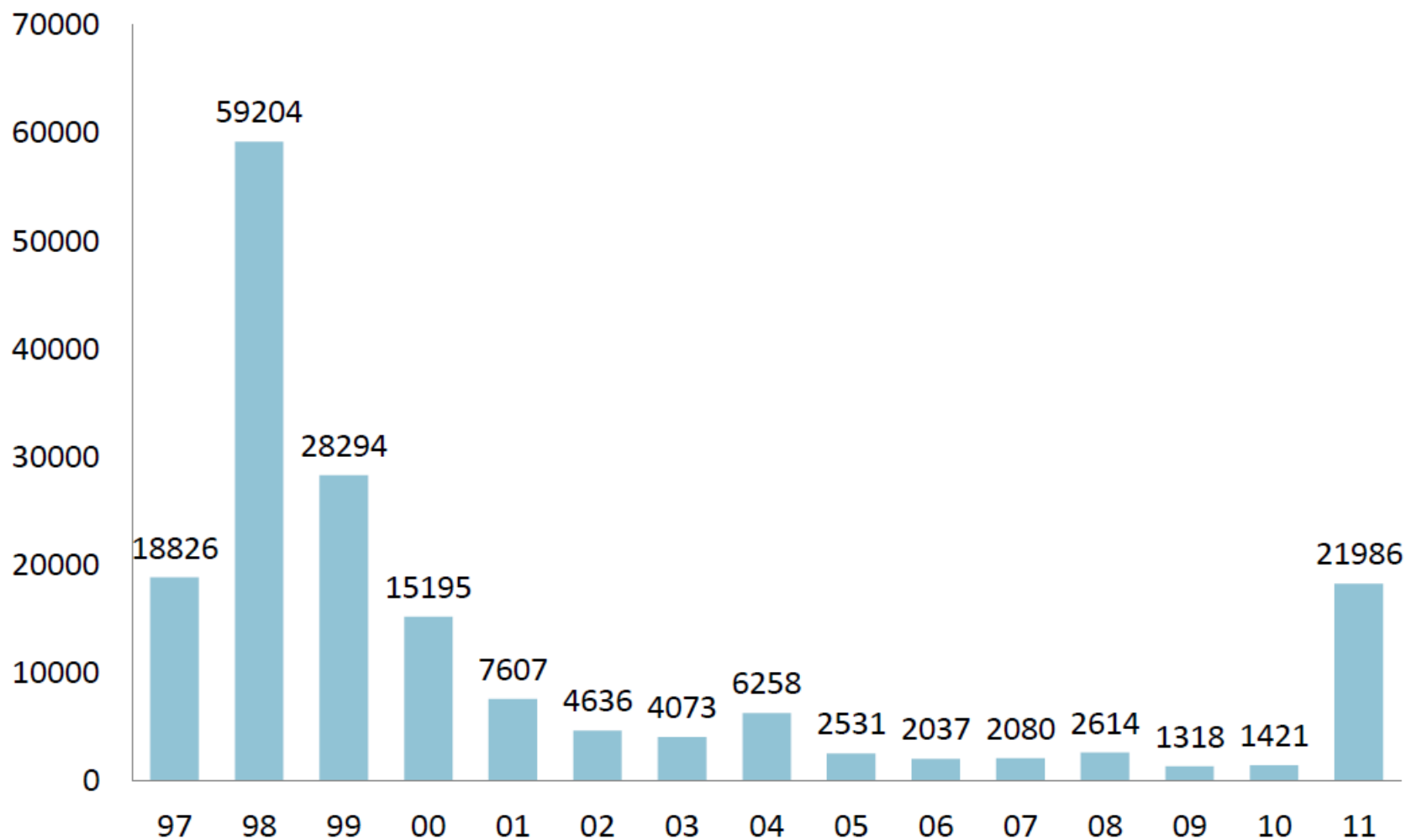
卒業！！



生きがい・仕事づくり「まけないぞう」

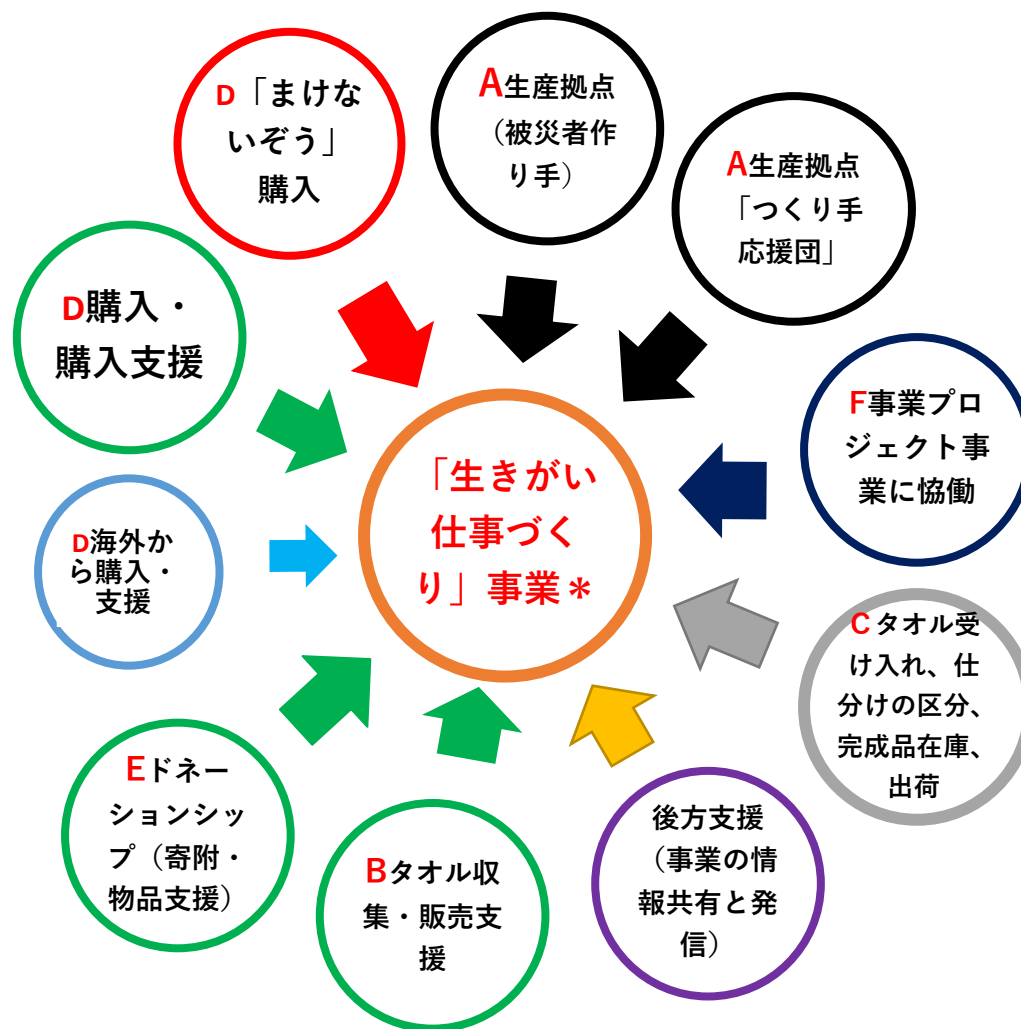


これまでの出荷実績



- 作り手は80名弱(福島2,宮城11,岩手42,兵庫12,新潟5,その他若干)
- 仕事をする事で生きがい、繋がりを感じる
- まけないぞうを支える諸ボランティア
 - タオル仕分けから販売に至るまでの支援の協働

「生きがいしごとづくり」を支援する協働（「わかちあい」） ボランティア経済圏（複数活動のネットワーク）



- 「災害時経済」
 - 市場経済とは異なる別様の経済(ボランティアエコノミー)
 - 公的な支出とは別に勘定されていない莫大な支援金が投入されている
 - 生活を支える経済(非公的、非市場的)
 - 若干の金銭 + 「働く」ことの意味
- ただし、恒久的存続は困難
 - 災害から2年程度でピークを過ぎる(経験則)
 - 「いきがい・仕事づくり」

被災地グッズ

- まけないぞう・・・被災地NGO協働センター
- 復興ぞうきん・・・SAVE IWATE
- 刺し子・・・テラ・ルネッサンス
- いろいろ・・・サンガ岩手
- その他たくさん

➡ 復興グッズ・被災地グッズ主宰団体連携会議（2012/08～）

復興そ

全国から支援物資として
被災された方々にそ
ぎました。1枚につき200
方にお渡ししています。
復興にはまだまだ長い
この復興そきんの一
がっています。
たくさんの方にご賛同い

配作者

佐渡

復興そ

全国から支援物資として
被災された方々にそ
ぎました。1枚につき200
方にお渡ししています。
復興にはまだまだ長い
この復興そきんの一
がっています。
たくさんの方にご賛同い

作者

佐藤登美子



1支
ネ部い

の

櫻葉ぞうきん

復興ぞうきん



ユーゲル

ユーゲルは、日本の伝統的な文様をモチーフにした、現代のデザインです。この文様は、日本の伝統的な文様をモチーフにした、現代のデザインです。

A91





こと
点で
しち
から
々の中

の方
纏って



2011年度
三陸の和グルミ
(むきグルミ・70g)

被災地の皆様に
始めました。
むき作業も被災された方々の
仕事にしたいと思っています。
・収益は被災地支援の活動費にあてられます。









復興グッズ・被災地グッズ主宰団体連携会議

- 2012年8月からスタート
- 当初は情報共有の場
- やがて共同販売（各種イベント会場）
- 2013年6月「第1回手しごと絆フェア」百貨店）
- 2014年7月ポータルサイトの開設
 - 盛岡情報ビジネス専門学校による支援
- 2014年度の助成金問題
- 2015年7月「第4回手しごと絆フェア」
 - 協力商品の導入



- 自立支援のあり方
 - 市場経済への参入
 - 「中二階」（生きがい・しごとづくり）
 - コミュニティづくり
- 「自立」概念
 - 単独者としての自立
 - 支え合い・わかちあいとしての自立